

作物名 [栽培形態] (分析部位) 実施年	試験圃場数	使用量 (g ai/ha)	回数 (回)	PHI (日)	残留値(mg/kg)			
					クロルフェナピル		代謝物 F	
					最高値	平均値	最高値	平均値
サラダ菜 [施設](茎葉) 2004~2005年	2	150	2	3 7 14	11.7 7.06 3.79	7.11 4.59 2.35		
ふき [施設](葉柄) 1999年	2	75	2	7 14 21	0.38 0.21 0.20	0.26 0.15 0.13		
すいぜんじな [施設](葉茎) 2003年	2	100	2	1 3 7 14	10.9 11.2 6.3 6.0	7.30 7.60 5.00 4.05		
食用ぎく [施設](花全体) 2003年	2	100~246	2	7 14	1.18 0.28	0.70 0.19		
よもぎ [露地](葉) 2004年	2	100~150	2	3 7 14	5.11 4.45 3.13	4.44 3.64 2.08		
ねぎ(葉ねぎ) [露地](茎葉) 1998年	2	100	2	7 14 21	1.32 0.73 0.32	0.79 0.46 0.19		
ねぎ (根深ねぎ) [露地](茎葉) 1998年	2	100	2	7 14 21	0.91 0.27 0.12	0.86 0.24 0.08		
アスパラガス [施設](茎) 2000年	2	150	2	1 3 7	0.21 0.05 <0.05	0.10* 0.04* 0.02*		
葉にんにく [露地](葉と麟茎) 2004年	2	83.5~110	1	14	0.22	0.18		
セルリー [施設](茎葉) 2005年	2	83.5~150	2	14	1.42	1.14		
みつば [施設](茎葉) 2004~2005年	2	50	1	14	1.3	1.05		
あしたば [露地](茎葉) 2003年	2	150	2	7 14	0.70 0.40	0.45* 0.35*		
コリアンダー [施設](茎葉) 2004年	2	75~100	2	14 21	1.60 1.16	1.49 0.86		
つわぶき [露地](可食部) 2004年	2	150	2	14 21 30	0.058 0.027 0.021	0.055 0.023 0.018		
トマト [施設](果実) 1998年	2	100	2	1 3 7	0.07 0.13 0.10	0.06 0.06 0.05		

作物名 [栽培形態] (分析部位) 実施年	試験圃場数	使用量 (g ai/ha)	回数 (回)	PHI (日)	残留値(mg/kg)			
					クロルフェナピル		代謝物 F	
					最高値	平均値	最高値	平均値
ミニトマト [施設](果実) 2005年	2	100~150	2	1 7 14	0.21 0.12 0.14	0.12 0.11 0.11		
ピーマン [施設](果実) 1996年	2	100	2	1 3 7	0.36 0.36 0.23	0.27 0.22 0.14		
なす [施設](果実) 1992年	2	100~150	2	1 3 7	0.33 0.20 0.10	0.22 0.14 0.07	<0.006 <0.006 <0.006	<0.006 <0.006 <0.006
ししとう [施設](果実) 2003年	2	100	2	1 3 7	2.39 2.19 1.38	1.46 1.32 0.78		
ししとう [施設](果実) 2005年	2	75	2	1 3 7	0.44 0.27 0.12	0.34 0.22 0.12		
伏見甘長 とうがらし [施設](果実) 2003年	2	100	2	7	0.47	0.42		
きゅうり [施設](果実) 1992年	2	150	2	1 3 7	0.17 0.11 0.08	0.13 0.08 0.07	<0.006 <0.006 <0.006	<0.006 <0.006 <0.006
かぼちゃ [露地・施設](果実) 2005年	2	150	2	1 3 7	0.12 0.09 0.06	0.08 0.06 0.06*		
すいか [施設](果肉) 2000年	2	100	2	1 3 7	<0.01 <0.01 <0.01	<0.0075 <0.0075 <0.0075		
にがうり [施設](果実) 2003~2004年	2	100	2	1 3 7	0.4 0.3 0.2	0.3 0.2 0.15*		
おくら [露地](果実) 1997年	2	75	1	1 2 3	0.26 0.21 0.11	0.22 0.14 0.08		
			2	1 2 3	0.30 0.21 0.10	0.24 0.16 0.08		
みょうが [施設](花穂) 2001年	2	150	2	1 3 7	<0.05 <0.05 <0.05	<0.03 <0.03 <0.03		
モロヘイヤ [施設](茎葉) 2003年	2	80~260	1	14 21	0.36 <0.05	0.26 <0.05		
はすいも [施設](葉柄) 2003~2004年	2	100~150	2	1 3 7	0.06 0.06 0.08	0.04 0.05* 0.04		

作物名 [栽培形態] (分析部位) 実施年	試験 圃場 数	使用量 (g-ai/ha)	回数 (回)	PHI (日)	残留値(mg/kg)			
					クロルフェナピル		代謝物 F	
					最高値	平均値	最高値	平均値
未成熟えんどう [施設](さや) 2003~2004年	2	100~230	2	1 3 7	0.97 0.51 0.22	0.77 0.41 0.18		
エンサイ [露地](茎葉) 2005年	2	100~150	2	3 7 14	0.91 0.13 <0.05	0.48 0.08 <0.05		
やなぎたて [施設](茎葉) 2004年	2	75	2	14 21	1.47 0.63	1.00 0.52		
食用プリムラ [施設](花器全体) 2004年	2	75	2	14 21	0.65 0.50	0.60 0.34		
みかん [施設](果肉) 2000年	2	300	2	1 3 7	<0.02 <0.02 <0.02	<0.02 <0.02 <0.02		
みかん [施設](果皮) 2000年	2	300	2	1 3 7	3.76 4.23 3.78	1.71 1.74 1.65		
温州みかん [施設](果肉) 1995年	2	250	2	1 3 7	0.07 0.04 0.03	0.03* 0.02* 0.01*		
温州みかん [施設](果皮) 1995年	2	250	2	1 3 7	2.34 1.73 1.26	1.46 1.10 0.82		
なつみかん [露地](果肉) 1997年	2	250	2	1 3 7	<0.01 <0.01 <0.01	<0.01 <0.01 <0.01		
なつみかん [露地](果皮) 1997年	2	250	2	1 3 7	1.87 2.32 2.02	1.44 1.70 1.56		
なつみかん [露地](果実全体) 1997年	2	250	2	1 3 7	0.60 0.73 0.67	0.42 0.49 0.47		
ゆず [露地](果実) 1997年	2	250	2	1 3 7	0.42 0.39 0.50	0.30 0.32 0.30		
さんしょう [露地](果実) 2003~2004年	2	75	2	7 14 21 28	0.72 0.67 0.60 0.60	0.61 0.60 0.58 0.50		
りんご [露地](果実) 1992年	2	250	2	21 28 42	0.29 0.23 0.06	0.19 0.14 0.06	<0.006 <0.006 <0.006	<0.006 <0.006 <0.006
りんご [無袋](果実) 1994年	2	250	2	3 7 14	0.41 0.42 0.39	0.32 0.35 0.31	<0.006 <0.006 <0.006	<0.006 <0.006 <0.006

作物名 [栽培形態] (分析部位) 実施年	試験圃場数	使用量 (g ai/ha)	回数 (回)	PHI (日)	残留値(mg/kg)			
					クロルフェナピル		代謝物 F	
					最高値	平均値	最高値	平均値
りんご [露地](果実) 2004年	2	200~300	2	1	0.71	0.55		
				7	0.62	0.52		
				21	0.42	0.35		
なし [露地](果実) 1996年	2	250	2	7	0.36	0.29		
				14	0.32	0.26		
				21	0.18	0.15		
もも [露地](果肉) 1997年	2	250	2	1	<0.01	<0.01		
				3	<0.01	<0.01		
				7	<0.01	<0.01		
もも [露地](果皮) 1997年	2	250	2	1	2.33	1.81		
	2			3	3.57	2.75		
	1			7	3.14	2.87		
ネクタリン [露地](果実) 2004年	2	200~300	2	7	0.46	0.32		
				14	0.33	0.30		
すもも [露地](果実) 2007年	2	200	2	1	0.19	0.12		
				3	0.10	0.09		
				14	0.11	0.06		
おうとう [施設](果実) 1998年	1	250	2	14	0.29	0.18		
	2			21	0.32	0.26		
	1			22	0.03	0.02		
	1							
いちご [無袋](果肉) 1996年	1	100	2	22	0.04	0.04		
				57	0.03	0.02		
いちご [施設](果実) 2003年	2	100~125	2	1	1.57	0.79		
				3	1.13	0.54		
				7	0.97	0.47		
ぶどう [施設](果実) 1997~1999年	4	150~175	2	14	0.94	0.55		
	4			21	2.40	0.92		
	4			30	1.80	0.79		
	2			45	1.75	0.95		
ぶどう [施設](果実) 2002~2003年	2	150	2	14	0.27	0.22		
	2			21	0.25	0.18		
	2			30	0.27	0.16		
	1			45	0.03	0.03		
かき [無袋](果実) 1995年	2	250	2	14	0.39	0.26		
				21	0.36	0.20		
				28	0.31	0.16		
バナナ [露地](果実) 2004年	2	100	2	14	0.83	0.56		
				21	0.66	0.46		
キウイフルーツ [露地](果実) 2006年	2	150	2	1	<0.01	<0.01		
				3	<0.01	<0.01		
				7	<0.01	<0.01		
マンゴー [施設](果実) 2004年	2	150	2	14	0.085	0.082		
				21	0.060	0.057		
				30	0.056	0.055		

作物名 [栽培形態] (分析部位) 実施年	試験圃場数	使用量 (g ai/ha)	回数 (回)	PHI (日)	残留値(mg/kg)			
					クロルフェナピル		代謝物 F	
					最高値	平均値	最高値	平均値
いちじく [露地](可食部) 1998-2000年	3	100	2	1	0.49	0.08	/	/
				3	0.47	0.28		
				7	0.32	0.14*		
ゴレンシ [施設](可食部) 2004年	2	150	2	14	0.74	0.73	/	/
				21	0.75	0.73		
				30	0.69	0.68		
茶 [露地](荒茶) 1992年	2	200	2	7	31.4	22.3	0.36	0.21
				14	19.6	11.3	0.39	0.20
				21	13.2	6.76	0.37	0.17*
茶 [露地](浸出液) 1992年	2	200	2	7	0.36	0.28	<0.02	<0.02
				14	0.28	0.16	<0.02	<0.02
				21	0.19	0.10*	<0.02	<0.02
茶 [簡易被覆](荒茶) 1992~1993年	3	200	1	7	28.7	20.7	/	/
	3			14	18.4	9.44		
	2			21	3.88	2.34		
茶 [簡易被覆](滲出液) 1992~1993年	3	200	1	7	0.64	0.34	/	/
	3			14	0.31	0.15		
	2			21	0.09	0.04*		

注) ai : 有効成分量、PHI : 最終使用から収穫までの日数

- ・ 散布には10%フロアブル剤を使用した。
- ・ 一部に定量限界未満を含むデータの平均を計算する場合は定量限界値を検出したものとして計算し、*印を付した。
- ・ すべてのデータが定量限界未満の場合は定量限界値の平均に<を付して記載した。

<別紙4：推定摂取量>

作物名	残留値 (mg/kg)	国民平均 (体重：53.3 kg)		小児(1~6歳) (体重：15.8 kg)		妊婦 (体重：55.6 kg)		高齢者(65歳以上) (体重：54.2 kg)	
		ff (g/人日)	摂取量 (g/人日)	ff (g/人日)	摂取量 (g/人日)	ff (g/人日)	摂取量 (g/人日)	ff (g/人日)	摂取量 (g/人日)
さといも	0.29	11.6	3.36	5.7	1.65	7.9	2.29	17.3	5.02
やまのいも	0.54	2.6	1.40	0.5	0.27	1.6	0.86	4.3	2.32
てんさい	0.05	4.5	0.23	3.7	0.19	3.4	0.17	4.0	0.20
だいこん(根)	0.01	45.0	0.45	18.7	0.19	28.7	0.29	58.5	0.59
だいこん(葉)	0.76	2.2	1.67	0.5	0.38	0.9	0.68	3.4	2.58
かぶ(根)	0.03	2.6	0.08	0.7	0.02	0.7	0.02	4.2	0.13
かぶ(葉)	6.08	0.5	3.04	0.1	0.61	0.3	1.82	1.1	6.69
はくさい	0.07	29.4	2.06	10.3	0.72	21.9	1.53	31.7	2.22
キャベツ	0.24	22.8	5.47	9.8	2.35	22.9	5.50	19.9	4.78
こまつな	0.47	4.3	2.02	2.0	0.94	1.6	0.75	5.9	2.77
きょうな	3.07	0.3	0.92	0.1	0.31	0.1	0.31	0.3	0.92
チンゲンサイ	0.86	1.4	1.20	0.3	0.26	1.0	0.86	1.9	1.63
カリフラワー	0.21	0.4	0.08	0.1	0.02	0.1	0.02	0.4	0.08
ブロッコリー	0.25	4.5	1.13	2.8	0.70	4.7	1.18	4.1	1.03
その他のアブラナ科野菜	5.22	2.1	11.0	0.3	1.57	0.2	1.04	3.1	16.2
レタス	7.11	6.1	43.4	2.5	17.8	6.4	45.5	4.2	29.9
その他のきく科野菜	7.6	0.4	3.04	0.1	0.76	0.5	3.80	0.7	5.32
ねぎ	0.86	11.3	9.72	4.5	3.87	8.2	7.05	13.5	11.6
アスパラガス	0.10	0.9	0.09	0.3	0.03	0.4	0.04	0.7	0.07
その他のゆり科野菜	0.18	0.9	0.16	0.1	0.02	0.1	0.02	1.8	0.32
セルリー	1.14	0.4	0.46	0.1	0.11	0.3	0.34	0.4	0.46
みつば	1.05	0.2	0.21	0.1	0.11	0.1	0.11	0.2	0.21
その他のせり科野菜	1.49	0.1	0.15	0.1	0.15	0.1	0.15	0.3	0.45
トマト	0.12	24.3	2.92	16.9	2.03	24.5	2.94	18.9	2.26
ピーマン	0.27	4.4	1.19	2.0	0.54	1.9	0.51	3.7	1.00
なす	0.22	4.0	0.88	0.9	0.20	3.3	0.73	5.7	1.25
その他のなす科野菜	1.46	0.2	0.29	0.1	0.15	0.1	0.15	0.3	0.44
きゅうり	0.13	16.3	2.12	8.2	1.07	10.1	1.31	16.6	2.16
かぼちゃ	0.12	9.4	1.13	5.8	0.70	6.9	0.83	11.5	1.38
その他のうり科野菜	0.3	0.5	0.15	0.1	0.03	2.3	0.69	0.7	0.21
おくら	0.24	0.3	0.07	0.2	0.05	0.2	0.05	0.3	0.07
その他の野菜	1.00	12.6	12.6	9.7	9.70	9.6	9.60	12.2	12.2
みかん	1.74	41.6	72.4	35.4	61.6	45.8	79.7	42.6	74.1
なつみかんの皮	1.70	0.1	0.17	0.1	0.17	0.1	0.17	0.1	0.17
なつみかんの果実全体	0.49	0.1	0.05	0.1	0.05	0.1	0.05	0.1	0.05
その他のみかん	0.61	0.4	0.24	0.1	0.06	0.1	0.06	0.6	0.37
りんご	0.55	35.3	19.4	36.2	19.9	30.0	16.5	35.6	19.6
なし	0.29	5.1	1.48	4.4	1.28	5.3	1.54	5.1	1.48

作物名	残留値 (mg/kg)	国民平均 (体重：53.3 kg)		小児(1-6歳) (体重：15.8 kg)		妊婦 (体重：55.6 kg)		高齢者(65歳以上) (体重：54.2 kg)	
		ff (g/人日)	摂取量 (g/人日)	ff (g/人日)	摂取量 (g/人日)	ff (g/人日)	摂取量 (g/人日)	ff (g/人日)	摂取量 (g/人日)
もも	2.87	0.5	1.44	0.7	2.01	4.0	11.5	0.1	0.29
ネクタリン	0.32	0.1	0.03	0.1	0.03	0.1	0.03	0.1	0.03
すもも	0.12	0.2	0.02	0.1	0.01	1.4	0.17	0.2	0.02
おうとう	0.26	0.1	0.03	0.1	0.03	0.1	0.03	0.1	0.03
いちご	0.79	0.3	0.24	0.4	0.32	0.1	0.08	0.1	0.08
ぶどう	0.92	5.8	5.34	4.4	4.05	1.6	1.47	3.8	3.50
かき	0.26	31.4	8.16	8.0	2.08	21.5	5.59	49.6	12.9
バナナ	0.56	12.6	7.06	11.3	6.33	8.7	4.87	17.7	9.91
マンゴー	0.082	0.1	0.01	0.1	0.01	0.1	0.01	0.1	0.01
その他の果実	0.73	3.9	2.85	5.9	4.31	1.4	1.02	1.7	1.24
茶	22.3	3.0	66.9	1.4	31.2	3.5	78.0	4.3	95.9
合計			298		181		291		336

- 注) 残留値は、申請されている使用時期・回数による各試験区の平均残留値の最大値を用いた(別紙3参照)。
- ・ff:平成10~12年の国民栄養調査(参照76~78)の結果に基づく農産物摂取量(g/人日)。
 - ・摂取量:残留値及び農産物摂取量から求めたクロロフェナピルの推定摂取量(μg/人日)。
 - ・「きょうな」についてはみずなの平均残留値を用いた。
 - ・「その他のアブラナ科野菜」には、ひろしまな、非結球メキャベツ、さんとうさい、茎ブロッコリー及びびなばなのうち、平均残留値の高い非結球メキャベツの値を用いた。
 - ・「レタス」には、レタス、リーフレタス及びサラダ菜のうち、平均残留値の高いサラダ菜の値を用いた。
 - ・「その他のさく科野菜」には、ふき、すいぜんじな、食用ぎく及びよもぎのうち、平均残留値の高いすいぜんじなの値を用いた。
 - ・「その他のゆり科野菜」には、葉にんにくの残留値を用いた。
 - ・「その他のせり科野菜」にはあしたば、コリアンダー及びつわぶぎのうち、平均残留値の高いコリアンダーの値を用いた。
 - ・「トマト」には、トマト及びミニトマトのうち、平均残留値の高いミニトマトの値を用いた。
 - ・「その他のなす科野菜」には、ししとう及び伏見甘長とうがらしのうち、平均残留値の高いししとうの値を用いた。
 - ・「その他のうり科野菜」には、にがうりの平均残留値を用いた。
 - ・「その他の野菜」には、みょうが、モロヘイヤ、はすいも、未成熟エンドウ、エンサイ、やなぎたて及び食用プリムラのうち、平均残留値の高いやなぎたての値を用いた。
 - ・「その他のかんきつ」には、ゆず及びさんしょうのうち、平均残留値の高いさんしょうの値を用いた。
 - ・「その他の果実」には、いちじく及びゴレンシのうち、平均残留値の高いゴレンシの値を用いた。
 - ・「あずき」、「かんしょ」、「すいか」、「なつみかん(果肉)」及び「キウイフルーツ」については、すべての値が定量限界未満であったため、摂取量の算出はしていない。

<参照>

- 1 農薬抄録クロルフェナピル：日本農薬株式会社、2005年、一部公表
(URL：<http://www.acis.famic.go.jp/syouroku/chlorfenapyr/index.htm>)
- 2 ラットにおける吸収・分布・排泄：(株)三菱化成安全科学研究所、1994年、未公表
- 3 ラットにおける代謝：(株)三菱化成安全科学研究所、1994年、未公表
- 4 ラットにおける胆汁中排泄（追加試験）：(株)三菱化学安全科学研究所、1994年、未公表
- 5 ラット反復投与における分布・代謝・排泄：(株)三菱化学安全科学研究所、1995年、未公表
- 6 マウスにおける血液中濃度推移：(株)三菱化学安全科学研究所、1997年、未公表
- 7 ひめりんごにおける代謝：(株)三菱化成安全科学研究所、1994年、未公表
- 8 なすにおける代謝：(株)三菱化成安全科学研究所、1994年、未公表
- 9 キャベツにおける代謝：(株)三菱化成安全科学研究所、1994年、未公表
- 10 土壌における代謝：(株)三菱化成安全科学研究所、1994年、未公表
- 11 土壌表面における光分解試験：American Cyanamid Company、1993年、未公表
- 12 土壌吸着性試験：(株)三菱化成安全科学研究所、1993年、未公表
- 13 加水分解試験（非標識体を用いた評価その1）：(株)三菱化成安全科学研究所、1992年、未公表
- 14 加水分解試験（非標識体を用いた評価その2）：(株)三菱化成安全科学研究所、1992年、未公表
- 15 加水分解試験（標識体を用いた評価）：American Cyanamid Company、1993年、未公表
- 16 水中光分解試験（非標識体を用いた評価）：(株)三菱化成安全科学研究所、1993年、未公表
- 17 水中光分解試験/緩衝液（標識体を用いた評価）（GLP対応）：American Cyanamid Company、1993年、未公表
- 18 水中光分解試験/自然水（標識体を用いた評価）（GLP対応）：日本農薬(株)、2004年、未公表
- 19 土壌残留試験結果：日本農薬(株)、1998年、未公表
- 20 作物残留試験結果：日本農薬(株)、1993年~2000年、未公表
- 21 生体の機能に及ぼす影響に関する試験：三菱化成安全科学研究所、1994年、未公表
- 22 ラットにおける急性経口毒性試験（GLP対応）：三菱化成安全科学研究所、1994年
- 23 マウスにおける急性経口毒性試験（GLP対応）：American Cyanamid Company、1993年、未公表
- 24 ウサギにおける急性経皮毒性試験（GLP対応）：American Cyanamid Company、1992年、未公表
- 25 ラットにおける急性吸入毒性試験（GLP対応）：Bio/dynamic社、1993年、未公表
- 26 代謝物 PY(F)のラットにおける急性経口毒性試験（GLP対応）：American Cyanamid Company、1994年、未公表
- 27 代謝物 M-4-H(D)のラットにおける急性経口毒性試験（GLP対応）：American Cyanamid Company、1994年、未公表
- 28 代謝物 PY-5-COOH(G)のラットにおける急性経口毒性試験（GLP対応）：American

- Cyanamid Company、1994年、未公表
- 29 代謝物 PY-4-CO-5-OH(K)のラットにおける急性経口毒性試験 (GLP 対応) : American Cyanamid Company、1994年、未公表
 - 30 ラットにおける経口投与による急性神経毒性試験 (GLP 対応) : Pharmaco LSR 社、1994年、未公表
 - 31 ウサギにおける皮膚一次刺激性試験 (GLP 対応) : American Cyanamid Company、1992年、未公表
 - 32 ウサギにおける眼粘膜一次刺激性試験 (GLP 対応) : American Cyanamid Company、1994年、未公表
 - 33 ウサギにおける眼粘膜一次刺激性試験 (GLP 対応) : 三菱化成安全科学研究所、1994年
 - 34 モルモットにおける皮膚感作性試験 (GLP 対応) : American Cyanamid Company、1993年、未公表
 - 35 モルモットにおける皮膚感作性試験 (GLP 対応) : 三菱化成安全科学研究所、1995年、未公表
 - 36 ラットにおける亜急性経口毒性試験 (GLP 対応) : American Cyanamid Company、1993年、未公表
 - 37 マウスにおける亜急性経口毒性試験 (GLP 対応) : American Cyanamid Company、1994年、未公表
 - 38 イヌにおける亜急性経口毒性試験 (GLP 対応) : Pharmaco LSR 社、1993年、未公表
 - 39 ウサギにおける亜急性経皮毒性試験 (GLP 対応) : Bio/dynamic 社、1993年、未公表
 - 40 イヌにおける混餌法による慢性毒性試験 (GLP 対応) : Pharmaco LSR 社、1994年、未公表
 - 41 ラットにおける混餌法による慢性毒性発癌性併合試験 (GLP 対応) : Hazleton Washington、1994年、未公表
 - 42 マウスにおける混餌法による発癌性試験 (GLP 対応) : Bio-Research Laboratories、1994年、未公表
 - 43 ラットにおける混餌法による1年間神経毒性試験 (GLP 対応) : Argus Research Laboratories 社、1994年、未公表
 - 44 ラットを用いた繁殖毒性試験 (GLP 対応) : Pharmaco LSR 社、1994年、未公表
 - 45 ラットにおける繁殖試験に関する検討試験 (GLP 対応) : 三菱化学安全科学研究所、1994年、未公表
 - 46 ラットにおける催奇形性試験 (GLP 対応) : Argus Research Laboratories 社、1993年、未公表
 - 47 ウサギにおける催奇形性試験 (GLP 対応) : Argus Research Laboratories 社、1993年、未公表
 - 48 細菌を用いた DNA 修復試験 (GLP 対応) : 三菱化成安全科学研究所、1994年、未公表
 - 49 細菌を用いた復帰突然変異試験 (GLP 対応) : American Cyanamid Company、1994年、未公表
 - 50 チャイニーズハムスターの CHO 細胞を用いた HGPRT 突然変異試験 (GLP 対応) : American

- Cyanamid Company、1994年、未公表
51. CHL細胞を用いた in vitro 染色体異常試験 (GLP 対応) : Huntingdon Research Centre、1994年、未公表
52. ラットの初代培養肝細胞を用いた不定期 DNA 合成試験 (GLP 対応) : Microbiological Associates 社、1993年、未公表
53. マウスを用いた in vivo 骨髄小核試験 (GLP 対応) : American Cyanamid Company、1994年、未公表
54. 代謝物 PY(F)の細菌を用いた復帰変異試験 (GLP 対応) : American Cyanamid Company、1994年、未公表
55. 代謝物 M-4-H(D)の細菌を用いた復帰変異試験 (GLP 対応) : American Cyanamid Company、1994年、未公表
56. 代謝物 PY-5-COOH(G)の細菌を用いた復帰変異試験 (GLP 対応) : American Cyanamid Company、1994年、未公表
57. マウスにおける混餌法による神経毒性試験 (GLP 対応) : 三菱化学、1994年、未公表
58. 食品健康影響評価について
(URL : <http://www.fsc.go.jp/hyouka/hy/hy-uke-171004-chlorphenapyr.pdf>)
59. 第 114 回食品安全委員会
(URL : <http://www.fsc.go.jp/iinkai/i-dai114/index.html>)
60. 食品、添加物等の規格基準 (昭和 34 年厚生省告示第 370 号) の一部を改正する件 (平成 17 年 11 月 29 日付、厚生労働省告示第 499 号)
61. 第 42 回食品安全委員会農薬専門調査会
(URL : <http://www.fsc.go.jp/senmon/nouyaku/n-dai42/index.html>)
62. 食品健康影響評価について
(URL : <http://www.fsc.go.jp/hyouka/hy/hy-uke-chlorphenapyr-180718.pdf>)
63. 第 153 回食品安全委員会
(URL : <http://www.fsc.go.jp/iinkai/i-dai153/index.html>)
64. クロルフェナピルの安全性評価資料の追加提出 (要望事項に対する回答書) : 日本農薬株式会社、2007年、未公表
65. 代謝物 PY(F)の細菌を用いた復帰変異試験 (GLP 対応) : BASF、2007年、未公表
66. 第 12 回食品安全委員会農薬専門調査会総合評価第一部会
(URL : http://www.fsc.go.jp/senmon/nouyaku/sougou1_dai12/index.html)
67. 第 22 回食品安全委員会農薬専門調査会幹事会
(URL : http://www.fsc.go.jp/senmon/nouyaku/kanjikai_dai22/index.html)
68. 食品健康影響評価の結果の通知について
(URL : http://www.fsc.go.jp/hyouka/hy/hy-tuuchi-chlorphenapyr_k_190927.pdf)
69. 食品、添加物等の規格基準 (昭和 34 年厚生省告示第 370 号) の一部を改正する件 (平成 20 年 11 月 27 日付、厚生労働省告示第 529 号)
70. 食品健康影響評価について

